

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
子どもサポートセンター うるら小倉北		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・一人あたり5㎡あり基準を満たしている ・遊ぶエリアと休憩エリアをテント等を設けそれぞれスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員・保育士・障害福祉サービス経験者を常時4人以上配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・階段に手すりを設置しているが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状	・過ごしやすい環境となるよう配慮の必要性に応じた対応を心がけていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行い、清潔感を保っている ・活動スペースは十分に設けており活動の際もスムーズに取り組む事ができている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・別室やテントにて個別のスペースを設けクールダウンなどに使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・週の初めなどにスケジュール確認等行いミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ホームページにて評価、好評を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週の初めミーティングを行い、意見交換の機会を密に設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は利用者と社内の評価のみとなっている	・第3者評価の実施については今後検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・必要な研修には積極的に参加をしミーティングの際に全員で共有をしている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・月のスケジュール表を渡し、日々の活動を保護者の方にわかりやすく伝えている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画書の作成をしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員全体が共通理解を図る為、ミーティングを開催し、情報共有を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画書に沿って支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・今後、導入していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインをふまえ、保護者の方と面談した上で職員で支援内容を確認している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日々の支援の中で児童の課題点を見つめながら職員全体で話し合い、支援に沿った活動を取り入れるよう工夫している	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・個々の支援内容に沿ったプログラムを月や週によって固定化しないように取り入れている。また回数を重ね、獲得する事のできる活動については継続的に取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・一人一人の発達に応じた個々の課題と集団適応、社会性の課題を支援計画に入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝、個別のスケジュール、活動内容などを共通理解するため、ミーティングを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎後、1日の流れや保護者からの伝達等を含め、共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援後は、活動記録の記入を行い1日の振り返りや課題点を見出し、今後の支援に繋げられるよう取り組んでいる	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度、見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・ガイドラインをふまえ、子どもたち1人1人にあった支援内容を提供している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・要求や自分の気持ち、してほしい事など気持ちを確認し、その意思を大切にしながら支援を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・支援に関わっている職員が担当者会議に参加をしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・協力医療機関との連携を図り何かあった際にすぐに対応できるように体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・お迎えの際に学校との情報共有を図っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・今後、障害福祉サービス事業所へ移行する場合障害福祉サービス事業所等を併設しており綿密な情報提供を行える状況にあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センターや発達障害者支援センター等との連携を図り、必要に応じ研修に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・子ども食堂への参加をし地域のこども達との交流の機会を増やした ・地域の野球クラブの子どもたちとの交流を行った	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳で活動の様子や送迎時に状況などの助言や課題点などを伝え、今後に向けての支援に対し共通理解を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者会の際に、面談を行いその際に、保護者の方の困りごとなどを伺い、必要に応じて出来る限り情報の共有を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時やプログラムの変更等があった場合には送迎時にお伝えしたり、書面をお渡しし説明を行うようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者とのコミュニケーションを図り必要に応じて面談等を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者の方に確認をしていただきサインを頂くようにしている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者会等で面談の機会を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者会の開催は年に1回行っているが保護者同士の交流は少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・夜間、休日にも携帯をスタッフが持っている為いつでも連絡が取れる体制を作っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagramで週に1度、活動の様子を保護者の方により伝わるよう発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報記載された書類は鍵付きの棚にて保管管理をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・連絡帳やイラストつきのおたよりなどでわかりやすい伝達方法を使っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・外部の方を行事にお招きすることは現時点行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・年に2回の消防訓練、マニュアルの作成 ・訓練の様子についてはおたよりにて保護者に周知してもらい安心してもらえるよう努めている	保護者の方への周知・説明を徹底していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時、保護者の方に個人調査票の記入をお願いしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・事前に把握し、対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内にファイリングしたものをいつでも閲覧できるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・各研修に参加をし職員全体で情報の共有を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・契約時にやむを得ない場合の身体拘束についての説明をしっかりと行い、了承を得ている	